

第7章 構想推進のために

第1節 住民参画の推進

【現状と課題】

本町は2町村の小規模合併という利点を活かし、きめ細かな行政サービスを心がけています。また、あらゆる意味で住民と行政の距離が近いため、住民要望が直接施策に反映されることも少なくないことから、自治会組織等との良好な関係を築いています。

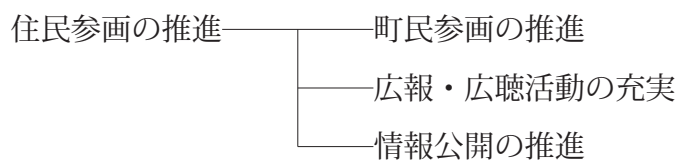
各種計画を策定する際においても、極力住民の立場からの意見を取り入れるため、審議委員等の選任にあたって配慮しています。今後も自治会をはじめ関係機関と連携しながら町政の運営を図ります。

【基本方針】

各種計画・施策において、住民の意見を取り入れるとともに、コミュニティとの連携を図ります。

あらゆる方法で行政情報を的確に提供するとともに、意見・要望等をくみ上げる広聴活動を推進します。

【施策の体系】



【施策の内容】

項 目	施 策 の 概 要	前期計画での実績
町民参画の推進	<ul style="list-style-type: none"> ○施策や事業の計画立案、実施から評価までの各段階において、町民参画ができる仕組みを確立します。 ○各種支援事業を活用し、コミュニティ活動への援助を実施します。 ○自治会をはじめとして、住民、地域づくり団体、NPO等との連携を図り、パートナーシップによるまちづくりを推進します。 	<ul style="list-style-type: none"> ○各種審議会等委員の選任 ○コミュニティ助成
広報・広聴活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> ○町民にわかりやすく親しみやすい広報紙づくりに努めます。 ○町ホームページの内容の充実と的確な更新を行います。 ○町政に関する意見・提案・要望を的確に把握し、施策に反映させるため、行政協力員会議や「町長と町政を語る会」などの広聴活動の充実を図ります。 	<ul style="list-style-type: none"> ○行政協力員会議 ○町長と町政を語る会
情報公開の推進	<ul style="list-style-type: none"> ○情報公開については、広報誌とインターネットを活用し、積極的な開示を行います。 	<ul style="list-style-type: none"> ○広報はっぼう、お知らせ版の発行 ○ホームページ上での情報公開

第2節 時代に応じた行財政運営

【現状と課題】

地方分権一括法が施行されて以来、自治体の自主・自立性がより一層高まったことから、行財政運営能力の違いにより住民生活の面で自治体により大きな格差が生じる時代となっています。一方、近年の著しい経済社会環境の変化に伴って町民の生活様式や価値観が多様化し、行政需要が複雑化するとともに、本格的な高齢化社会を迎え、行政サービスに対する町民の要望はさらに多様化し増大していくと予想されます。また、大災害を教訓に安全安心な町づくりも喫緊の課題となっています。

このため、今後も限られた財源の中で緊急度や重要性の高いものから効率的に事務事業を進めるとともに、町民の立場に立った事務手続きの簡素化など、住民サービスの向上に努める必要があります。

財政運営については、町の将来像「白神の自然と人とで創るやすらぎのまち」実現のため、交付税の算定替の終了を見据えた、中・長期的な財政計画を策定し、安定した財政基盤の確立を図るとともに、健全財政を堅持し、積極的な財政の運営に努めていく必要があります。

・ 財政指標(平成22年度普通会計)

1. 決済規模

(単位：千円)

歳入	歳出	歳入歳出差引	実質収支	実質単年度収支
6,811,898	6,344,004	467,894	384,673	453,130

2. 財政規模

基準財政需要額	基準財政収入額	標準収入額	普通交付税	標準財政規模
3,352,256	557,812	699,384	3,279,174	4,342,558

3. その他財政指標

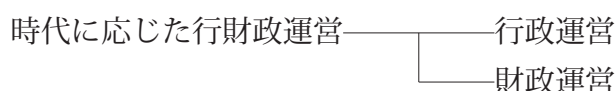
財政力指数	経常収支比率	実質公債費比率	将来負担比率	実質収支比率
0.178	76.8%	13.3%	61.7%	8.9%

資料：町企画財政課調べ

【基本方針】

行財政改革の推進や情報技術の活用によるスリムな行財政事務を推進し、行政評価に基づいた施策・事業の推進や民間活用などによる効率的・効果的な行財政運営を目指します。また、長期展望のもとに財政計画を策定し、健全な財政の堅持を図ります。

【施策の体系】



【施策の内容】

項 目	施 策 の 概 要	前期計画での実績
行政運営	<ul style="list-style-type: none"> ○時代に対応した柔軟で機動的な行政運営を図るため、職員の意識改革や資質の向上、危機管理体制の充実に努め、町民ニーズに対応できる体制の構築を図ります。 ○インターネットなどの活用により、即時的な情報共有化や双方向の情報のやり取りを通じ、町民生活の利便性の向上や行政運営の高度化を推進します。 ○能代山本広域市町村圏組合や近隣市町村などとの連携・協力による広域行政の充実を図ります。 ○行政評価システムの構築を検討し、P D C Aサイクルの中で効果的で計画的な行財政運営を推進します。 ○総合振興計画、過疎自立促進計画に基づき堅実な行財政運営を推進します。 	<ul style="list-style-type: none"> ○集中改革プランの実施 ○職員会議・研修の実施 ○庁内L A Nの構築 ○町ホームページの充実 ○新庁舎建設による行政サービスと利便性の向上 ○広域行政の充実 ○総合振興計画年度ローリング方式による評価 ○過疎計画管理
財政運営	<ul style="list-style-type: none"> ○効率的で柔軟な財政運営を図るため、自主財源の確保と依存財源の計画的な活用を図ります。 ○地方債の適正発行や金融経済情勢に応じた繰上償還、借換え債の措置を講じ、財政硬直化からの脱却を図ります。 ○事務事業の見直しや民間活用などにより、経常経費の抑制に努めます。 ○企業経営感覚の養成と町民にわかりやすいバランスシート等の財務会計システムの構築を図ります。 	<ul style="list-style-type: none"> ○交付金、過疎債の活用等による各種財政指標の改善 ○繰上償還の実施、借換え債の発行 ○事務事業改善会議の実施 ○財務省改訂モデル財務4表の作成・公表

【用語解説】

●「P D C Aサイクル」

P L A N（計画）、D O（実行）、C H E C K（評価）、A C T（改善）というサイクルによって継続的な業務改善活動を推進する管理手法。